

◇熊谷良夫君

○議長（伊藤福章君） 次に、12番、熊谷良夫君の一般質問を許可いたします。熊谷良夫君、登壇願います。

（12番 熊谷良夫君 登壇）

○12番（熊谷良夫君） 一般質問を行います。

美郷町の公共施設の再編計画については、町民に対する説明会などをいろいろ行ってきておりました。町民の皆様からは、寝耳に水との感じで、いろいろな意見や不満や、またあきらめの声が上がってきております。これには再編計画実施後の姿がよく見えてこない不安があるのではないかと思います。中学校が遠くなる、公民館が遠くなる、役場が遠くなる、その不安から来る不満、隣にあったものがなくなる、距離的に遠くなる、その不安を取り除く一つの方法として、道路網の整備や交通弱者の足の確保の計画を同時進行する必要があるのではないのでしょうか。学校統合計画の計画でいち早くスクールバスの導入を決めたのも、一つの不安を取り除く方法としてとった措置ではないかと思います。

道路整備の一例として、以前の一般質問でも出ましたが、角館六郷線の塚と鑓田の間の歩道がまだ設置されておられません。危険地帯として長年にわたり歩道設置を要望してきた経緯がありますが、美郷町となってからは、ますます交通量がふえ、朝夕のラッシュ時には学校に通う高校生がいつも危険な目に遭っている状態です。早急な改良が必要と思われませんが、計画はどのように進んでいるのかお伺いいたします。

そのほかにも、千畑・仙南を結ぶ南北に通じる道路の整備計画や大仙市との接合部分も改良しなければいけない箇所がたくさんあります。どのような整備計画をお持ちかお伺いいたします。

施設が遠くなることにより、今まで歩いて行けたところが何らかの交通手段を使わなければ行けない状態になります。特に学生、児童、高齢者にとっては大変な負担になってきています。いろいろな団体が合併して一つになった今、総会や集会のたびに足の確保が問題になっております。乗り合いタクシーを利用するのも一つの手段ではありますが、千畑から仙南に直通で行けない現在のシステムでは利用しにくいのが現状です。乗り合いタクシーの利便性を上げることにも取り組んでいかなければならないと思っております。また、定期的な交通手段として、千畑の公民館あるいは役場に集合すれば仙南の公民館に行けるような各公共施設間のシャトルバスのような運行はできないものか、町長の見解をお伺いいたします。

○議長（伊藤福章君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） それでは、ご質問にお答えいたします。

議員ご理解のとおり、公共施設の再編については、平成20年5月広報で基本的な方針を、平成21年4月広報では具体的な再編計画案をご提示したところで、段階的なまとめ方と周知に努めてきております。また、その後は、住民説明会や施設利用団体説明会、パブリックコメントやご意見はがきなどにより広くご意見を求め、それらを参酌した上で成案化してきておりますが、将来の姿がよく見えてこないなどのご指摘については、真摯に受けとめ、今後の周知の内容や仕方について留意してまいりたいと存じます。

さて、議員ご質問の不安解消策としての道路網の整備や交通弱者の足の確保についてですが、道路網の整備については、総合計画にあるとおり、幹線道路やそのアクセス道路の整備、特に集落間や施設間、近隣市町村等とのアクセス道路について計画的に進めているところです。

主要地方道角館六郷線については、現在小荒川地区の鞠子川橋の修繕及び歩道橋の設置工事を行っておりますが、これは21年度中に完了する予定とのことです。

また、畑屋地区の歩道設置については、このたび県より6月中旬に第1回目の住民説明会を開催する連絡があったところで、今後は、住民同意を得た後、路線測量、設計を行い、その詳細計画に基づき再度説明会を開催、今年度は用地測量までを行う計画と伺っております。来年度については、用地買収、建物調査を実施し、事業実施の環境が整い次第、工事に着手し、現時点では平成25年度を目途に完了する予定であるとのことです。長年要望してまいりましたこの件につきまして、いよいよ具体的に動き出しますが、早期完成と円滑な事業推進のためには関係各位のご理解とご協力が不可欠です。どうかよろしく願いいたします。町としても引き続き各般の協力を努めてまいりたいと考えております。

次に、南北に通ずる道路についてですが、町中央部では、主要地方道角館六郷線に町道赤城・扇田線、都野・東君堂線が接続し、町の背骨の道路として機能しているほか、東部では、みずほの里ロードが南北を結ぶ道路として機能しているところです。西部を南北に連絡する道路については、既設道路の状況や財源などを十分に調査しながら、今後の整備について検討してまいりたいと考えております。

次に、大仙市と接続する路線についてですが、安楽寺・小婦気線については、美郷町部分は既に完了しており、残りは大仙市分となっております。大仙市によりますと、平成21年度に拡幅改良済み部分の舗装、平成20年度で国道13号線の交差点改良工事を実施し、完了予定と伺っております。また、羽貫谷地線については、基盤整備事業にあわせて拡幅改良計画を予定していますが、今後大仙市分について協議・調整を図ってまいりたいと考えております。

次に、交通弱者の足の確保についてですが、議員ご指摘のとおり既に乗り合いタクシーにより地域間や公共施設への足を確保しているところです。この乗り合いタクシーは、平成20年2月に策定した地域公共交通総合連携計画の基本方針の第1に記述しているとおり、公共施設の再編による生涯学習や町行事への参加減少の懸念に対して町民が参加できる交通手段確保の目的で実施してきたもので、今回の再編等も視野に入れて実施してきたことにご理解をいただきたいと存じます。その運行については、今後も利用者へのアンケート調査などでニーズを的確に把握するとともに、増便やダイヤの改正、乗継割引等による利便性の向上が図られるよう、交通事業者や秋田県運輸局等で構成する町公共交通活性化再生協議会で協議・検討してまいりたいと存じます。なお、乗り継ぎ不要の定期便や定期的なシャトルバスの運行については、現在のシステムを構築する際の町公共交通活性化再生協議会における選択肢の一つでしたが、実現は難しいという検討結果が示されておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。以上です。

○議長（伊藤福章君） 再質問ありますか。

○12番（熊谷良夫君） ありません。一言。

あきらめではなく、納得していただいて、それが希望にかわるようなきめ細かな施策をお願いして、私の一般質問を終わります。

○議長（伊藤福章君） これで12番、熊谷良夫君の一般質問を終わります。